

和為貴

題字 和為貴 揮毫 新居浜市立船木小教諭 五味 民江 解説は3面



発行所
公益財団法人愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスボワール愛媛文教会館内
電話 (089) 945-8644
FAX (089) 945-1459
E-mail info@ehime-kyoukukai.jp

- (2) 学校紹介 庄内小学校
- (3) 地区教育会だより(四国中央ローカルトピックス)
- (4) (5) 特集「味自慢」
- (6) (7) 第46回入選俳句
- (8) ふるさとスケッチ

智恩・感恩・報恩



元松山市立双葉小学校長
伊予教育会副会長
亀岡 マリ子

文題の言葉は仏教の教えで、自分自身が数限りない恩を受けているという事実を知り、それらの恩に感謝して、恩に報いることの大切さを説くものだと思います。

私自身、これまでどれ程の人からご恩を受けてきたことでしょうか。親兄弟・恩師・友人・上司・先輩・同僚・児童や保護者・地域の方々・自分の家族等々、数え上げれば限りがあります。

さつているお陰で、あなたも後に続くことができるということ、ことを忘れぬように。」と、ご指導を頂きました。以来、先人の苦勞や努力のお陰で今の自分が在るということに常に肝に銘じ、様々な機会を与えて頂いたこと、教育分野のみならず、多様な経験をさせて頂いたことに深く感謝して、私なりに誠心誠意努めてきたつもりですが、もしかしたら、「智恩・感恩」まで、「報恩」にまで思いを致して

いなかっただかも知れません。先日、退職後間もない元校長先生が、「僕は、現職時代にたくさんの方にお世話になつてきた。だから退職後は

そのご恩返しをするつもりで関係団体に所属し、活動したりお世話させてもらったりしています。」とおっしゃいました。頭が下がりました。退職後も公職についていることを理由に、当たり前のように所属団体等のお手伝いや地域のお手伝いを免除していただき、参加することさえ疎かになっていた自分を恥ずかしく思いました。

高齢化率を引き上げ、後期高齢者の仲間入りも近くなつた今、お世話になることの方が益々多くなつていますが、遅ればせながら少しでもお返しができるように、今後も自分の能力の範囲で、「智恩・感恩」は勿論、「報恩」にまで思いを致す毎日を心掛けていきたいものだと思います。

- 一略 歴
- （かめおか・まり子）
 - 昭和42年 西条市立神戸小学校新探
 - 平成4年 松山教育事務所指導主事
 - 平成12年 県民環境部男女共同参画局長
 - 平成16年 愛媛県教育研究協議会副会長
 - 平成17年 愛媛県小中学校長会副会長
 - 平成19年 松山市立双葉小学校校長
 - 平成19年 定年退職
 - 平成19年 愛媛県男女共同参画センター館長
 - 平成29年 愛媛県公安委員会委員
 - 伊予教育会副会長

響き

映画「男はつらいよ」の第1作が昭和44年に公開されて、今年で50年となる。平成7年までの27年間に何と49本の作品がつくられ、シリーズ

の映画としては、ギネスブックに載る世界記録である。俳優故渥美清さん演じる車寅次郎を主役として、取り巻く妹さくら、おいちゃん、おばちゃん等々、寅さんの「ふるさと」東京葛飾柴又には、温かい家族がいつも待っている。その「ふるさと」があるがゆえに、寅さんはフーテンの一人旅ができたのだろう▼人はそれぞれに「ふるさと」を持っている。それは、自分が生まれたところかもしれないし、その人の思いの深いところかもしれない▼学校では、よく総合的な学習の時間等で「ふるさと学習」を展開する。地域の人・こと・ものを手掛かりとして、自分たちの生活舞台を支えてくれるものを探っている、その温かさ・絆そして人・自然の大切さに気づかせていく▼人は「ふるさと」を離れたときに、ふと距離を置いたときに、その良さに初めて気づく▼そのときのために、小・中学校時代に自分の「ふるさと」にどっぷりとつかれるような経験をさせてあげたいものだ。そして「ふるさと」を実感させたいものだ。

ひとこと

先生という仕事



愛媛県教育研究協議会 副会長 森 正男

夏休みのある講演会で聞いた話である。20代の若者が仕事に求めることの第1位は、「プライベートを大切にしたい」「また、結婚後は夫婦共に働いて、家事も子育ても助け合い、ゆとりある充実した人生を送りたいのだ」というのである。これを可能にするためには、定時に仕事を終えることができ、多様な働き方が可能で福利厚生が手厚い職場でなければならぬ。

さて、それでは先生の仕事はどうだろうか。学校でも働き方改革の声は聞こえるが、相変わらず仕事量は膨大で定時に帰宅などできるわけがない。部活動も週2日休みもなかったが、負担感はあまり変わらない。生徒指導や保護者対応の精神的なストレスも半端ない。しかも多様な保護者や児童・生徒のニーズに因應するため、益々仕事量は増加傾向にある。これでは近い将来、愛媛の学校から若い先生はいなくなるのではないかと思うこともある。

私は、先生になって良かったと思っている。確かに現実には困難なことばかりで厳しい仕事ではあるが、やればやっただけ必ず生徒の成長があり、温かい触れ合いがあり、涙が止まらない感動を味わうことができる。手を焼いた生徒の立派になった姿を見ることもできる。きっと先生をめざす若者は昔も今もこんなやりがい求めているのではないだろうか。しかし、仕事に対する価値観が変わってきているのも事実である。意欲のある若い先生が、プライベートと仕事をバランスよく充実させることができるように、名ばかりの働き方改革ではなく、抜本的な改革が急務であると感ずる。

(新居浜市立大生院中学校長)

学校紹介

No.194

西条市立庄内小学校

みたまの塔

「三十のみたまの来ませ時鳥」体育館前に立つ塔「みたまの塔」の背面に、この言葉が刻まれています。

4月も半ばを過ぎると、朝の自主清掃で、この塔周辺の除草やごみ拾いをする子ども

の姿が目立ち始めます。この光景は、本校にとって特別な日に備える自然な営みの一部です。

特別な日とは、今から63年前、高松市沖で国鉄宇高連絡船「紫雲丸」が沈没した日のこと。昭和30年5月11日、修学旅行でこの船に乗り合わせた本校6年生のうち29名とPTA会長の計30名の尊い命が海に消えたのです。



「みたまの塔」は、ご遺族及び地元有志の意思により慰霊のために建てられることが決定し、事故翌年の3月29日に完成し、除幕式が行われました。建立から60年を越えた今も、姿を変えず静かにたたずんでいます。

この出来事は、本校教育の原点となり、5月11日に合わせて、毎年「命について考える集会」を開いています。

当日は、登校してくる子どもたちもほとんどが花束を抱えてやってきました。高学年の子どもたちが中心になって、持ち寄った花を「みたまの塔」の前に飾ったり、あたりを掃き清めたりしています。

集会では、児童代表が「みたまの塔」に千羽鶴と花束を手向けた後、平成24年度6年生作詞の歌「あの日、あの時」を全員で合唱し、黙とうをささげます。学年ごとに将来の夢や命を大切に誓いの言葉なども発表し、事故で亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、自分の命を大切に、仲間を大切に、生命を誓う日としています。

終日、地域の方々がご参りに見え、用意した花入れが季節の花であふれています。なかには、当日はつかえがあつたと、前日や数日たつて来られる方もいます。

このように、地域の方々はもちろん、子どもたちも命に対する思いはたいへん深く、重いものがあり、人を大切に

する心、やさしさが自然に次世代に受け継がれています。

「みたまの塔」は、今も庄内小学校の子どもたちをあたたく見守り、命の尊さを静かに語りかけています。

(校長 池田 昭二)

協生済員職教

あんしんむすぶ

- 死亡・入院・特定の病気 3つの「もしも」に備えて
- 予期せぬ火災・住宅災害・自然災害に備えて
- 日常のさまざまなケガや賠償事故にも対応

トリプルガード

火災 共済
自然災害 共済

レスキュースリー



資料請求は下記へ。お気軽にご連絡ください。
教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所
〒790-8545 松山市祝谷町1-5-33 (愛媛文教会館内)
☎089-998-2141 http://www.kyousyokuin.or.jp/

題字に寄せて

わをたつととなす
和為貴



新居浜市船木小
教諭 論民江
五味

今回、このような機会を頂いて、閃いたのが「和為貴」である。これは、『論語』の中で、孔子の弟子の有子が述べた「禮之用和為貴」が、出典である。「礼の用は和をたつ」として「和」と書き下す。この言葉は、聖徳太子の「十七条憲法」の冒頭にも引用されている。人と仲よくすることだけでなく、平和な社会や心安らぐ社会の大切さを唱えたものであろう。

私は、子どもたちを導く者の一人として、協調・協和を大切に生き方を伝えていきたい。ものの考え方の違いを認め、相手を尊重し、自分の都合を抑えることが「和」に繋がると信じている。

地区教育会
だより

四国中央教育会

少しだけ
自慢させて
ください



四国中央教育会
OB
田中あけみ

「◎どう」「◎たえる」「◎ながる」これらの言葉の頭文字、「3つの◎を大切にしよう」と、私自身に言い聞かせ、機会あるごとに口にしています。教育会は、教職という職業を共に勤め(或いは勤めた)深い絆で結ばれた仲間の組織です。また、先人が戦後の混乱期に立ち上げ、当市では合併後、英知を集めて組織を見直して今につないでくれています。

四国中央教育会の自慢は、OBと現職との連携が密であること、また、組織としての役割分担が明確なことです。その上に、互いの助け合いや協力体制が整っています。旧支部があつた3地域に、



小事務局を置き、現職の教頭が担います。そして、四国中央教育会全体を見据えるのは、ベテラン事務局長(OB)で、企画・運営全般を、かげでしっかり支えてくれています。さあ、これから、2月に実施する「作品展」の話し合いに力が入ります。この「作品展」は、児童・生徒と教育会会員の作品(絵画・書・生け花・工芸・写真・手芸など)を一室に集めて展示します。そこには、地域の方々も足を運んで下さいます。この作品展は会員同士がつよい、つたえ、多くの思い出を残して、次年度へとつなげていくのです。

ローカルトピックス

つわぶき



残る茎の皮は通常ゴミとして処分しますが、伊方町では、この皮を利用して「つわぶき和紙」を作っています。はがきやレターセット、しおりなどつわぶき和紙を使った製品がたくさんあり、学校の卒業証書にも使われています。佐田岬半島へお越しの際には、風車や海岸線の景色と共に、黄色い花を咲かせているつわぶきやつわぶきを使った特産品もお手にとってみて下さい。

初冬の季語となっている「石路の花」を御存知ですか。キク科ツワブキ属の植物で、つやのある大きな葉をもって、います。常緑多年草で丈夫で枯れにくく育てやすいので、園芸植物として好まれ、秋から冬にかけて菊に似た黄色い花が咲きます。葉柄は、食用にもなります。西宇和郡全域に自生しており、「伊方町の花」に指定されています。3・4月頃は、新芽を山菜として炒め煮にして食べるとおいしいです。5・6月頃になると、大きく育った茎を使って味噌漬や粕漬にします。その時に

足跡をつづる、私を記す、形に残す。
あなたを主人公のドラマを未来に伝えませんか。

受賞作品
多数制作

自分史
作品集
研究報告
記念誌
業績集
楽曲集
エッセイ集
写真集

本づくり応援
品質・デザイン力に自信あり!

プロのスタッフが校正作業をサポートします!
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!

●規格・装丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示
●原稿作りのアドバイス ●予算のお見積り ―その他、ご相談承ります。―

ご注文・お問い合わせは 印刷営業部 ☎089-945-0112 FAX089-947-6073

SEKI セキ株式会社

文教月報編集協力委員
西宇和教育会 政木こずえ

特集

味自慢《我が家・我が町》

雄郡地区の味自慢



中山雄新中
市雄教諭
栄養
片岡 道枝

本校の位置する、雄郡地区には、「雄郡飯」というご飯があります。雄郡地区では、毎年夏に夏祭りが開かれており、雄郡地区の花が、サルビアであることから、「サルビア夏祭り」と呼ばれています。様々な催し物がある中、雄郡の伝統をつないでいきたいという願いから、10年ほど前に発案されたのが、「雄郡飯」です。毎年、サルビア夏祭りで600食分炊いて、地域の方に振る舞っています。

「雄郡飯」の材料は、赤米、鶏肉、あげ、ごぼう、人参で、しょうゆ味の混ぜご飯です。赤米を使用するのは、雄郡地区の特色を出すためだそうです。雄郡の花、サルビアの赤色を考慮されているのでは、個人的に推察します。雄

郡小学校出身の本校の生徒に、「雄郡飯」について聞いてみると、「おいしい」「小学校の時、作った」という答えでした。作ったことがあるという答えに驚き、さらに聞いてみると、雄郡小学校では、5年生が毎年、地域の方々の指導で、「雄郡飯」の調理実習を行うのだそうです。雄郡の伝統をつなぐという願いは、サルビア夏祭りだけではなく、子どもたちの体験学習でも、地域の方々の願いが、しっかりと継がれていっていると思います。

最後になりますが、お忙しい中、「雄郡飯」等について資料を提供していただいた、雄郡小学校様、雄郡公民館様に感謝いたします。

我が家の味自慢



上浮穴教育会
OB

高崎 啓子

「久万高原町といえば、高

崎先生のおでん。」と、言っていたのは、以前職場を共にし、今治へ帰られたU先生。私が現役の時、同僚を我が家に招いて時々ホームパーティーをしていました。秋からは鍋中心で、キジ鍋、水炊き、キムチ鍋等でもてなしましたが、中でもおでんは好評でした。

NHK番組の「美の壺」でおでんを取り上げていました。鍋、具材、出汁のとり方など様々で、その奥の深さには驚きでした。私のおでんにはこれといった特徴があるわけでは無いのですが、しいていえば、出汁の旨味にこだわるところでしょうか。昆布、いりこ、干し椎茸で出汁をとり、具材のおいしさをより引き出すようにしているつもりです。また、その出汁をとった後のいりこを使い、小さなジャガイモを丸ごと煮込んだ「じゃがまるくん」も人気でした。

退職後は念願だった飲食店の営業許可をとり、ホームパーティー時に人気だった惣菜を、道の駅「さんさん」に出荷するようになりました。例えば、ふきのとう味噌、ゆず味噌、山椒味噌等の味噌類。

玉ねぎドレッシングやきゅうり、大根、筍、ウド、フキ、生姜を使った佃煮類も作りました。中でも「ふきのとう味噌」は好評でよく完売しています。

大洲の里いも「夏いも」



大洲市教育会
OB

伊賀上 芳子

大洲のいもたきは有名です。子どもの頃は「いもか団子か団子かいいもか」といながら甘く味付けされた鍋を、十五夜には月が見える部屋に持ちこみ家族で食べていました。

甘いものに飢えていたのでこの日がとても楽しみでした（私は終戦の年に1年生でした）。大洲のいも煮にはこいもを使い、各家庭で中身・味付けが少々異なりますが大體同じです。大洲地方の里芋「夏芋

のこ」は、長く煮ても煮くずれせず、口に含むとろけるように煮上がり格別のおいしさとなります。私の家でも夏いもの時期になると何度となく「いもたき」をします。

鶏ももを一口大に切り、大鍋で酒いりし、芋の皮をとり塩でよくもみ洗ったもの・こんにやく・油揚げ・しいたけ（水にもどしたもの）・だし汁を入れて煮ます。途中で酒・砂糖・味醂・醤油を加え芋が軟らかくなるまで煮ます。

団子用に白玉粉を水で練り丸めてゆで水につけておきます。ハス芋の茎の皮をとり大きくそぎ切りにして、塩でもみ水洗いしてしぼっておきます。

里いもがやわらかくなったら上に団子を並べ、ハスの茎をひとつならべして一度沸いたら火をとめます。

煮汁は材料がかぶるくらいあるほうがいいです。

又、この地方では夏芋を入れたバラ粥し、炊きこみご飯は昔から家庭料理になっています。今では時代に合うように里芋コロッケ・里芋カレーを作り好評です。

おすすめしたいのが「里芋のおしゃれスープ」です。バターでいためた玉葱と里いもを煮てミキサーにかけ、鍋にもどし豆乳を入れ白味噌で味をつけます。器に盛り中央に脇川河口でとれた青のりを粉にして飾ります。

里芋のヌメリに含まれているガラクトタンという成分には、脳細胞を活性化して、老化や認知症を予防する働きがあるとか。私に合った食材です。

料理への挑戦



内子教育会OB 宮下 琴美

人生、いきいきと生きるた

祝 受章おめでと〜ございませう

◇瑞宝双光章（秋の叙勲）

- 一色 光雄 70歳 元松山市立清水小学校長 松山市
楠橋 恒雄様 70歳 元八幡浜市立川之石小学校長 八幡浜市
長井 強様 70歳 元今治市立常盤小学校長 今治市
結城 明様 70歳 元八幡浜市立八代中学校長 松山市
◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）
青野 行雄様 88歳 元新居浜市立金栄小学校長 新居浜市
仲川 達郎様 88歳 元美川村立美川中学校長 久万高原町
八木 光秋様 88歳 元重信町立南吉井小学校長 東温市

めには、何と言っても健康が欠かせない。塩分や糖分を控えるにいたした食事、適度な運動などの健康管理が大切である。我が家は、ごはん派のため毎朝の味噌汁が欠かせない。減塩にするため、出汁や味噌にも気を付けている。濃い目だと感じた時には、ゆず酢やオリブ油を加えたりしている。また、時々、塩分計測器で計り、薄味の範囲の味付けを目標としている。

食材については、無農薬で太陽の下で育ったもの、いわゆる旬のものを極力使っている。食材の独特な味を楽しみたいからである。例えば、茄子は少し若い時に収穫し、生のまま輪切りにし、味噌をつけて食べる。焼き茄子は炭火で、煮る時には

唐辛子を効かせてと、我が家のこだわりの調理法である。今年の夏、大洲の友人から「玉葱とシーチキンの茄子ステーキ」のレシピをもらった。

輪切りにして、フライパンで焼いた茄子に、薄くスライスした玉葱とシーチキンに乗せ、ニンニクとショウガのすり下ろしに、同量の醤油・砂糖・酢を合わせたドレッシングをかけたものである。パンチの効いた味が家族に好評で、家庭菜園の茄子の収穫が終わるまで、食卓に変化をもたらした。

こだわりの持ちつつ、今後は、どんどん新しいレシピにも、挑戦していきたいと感じた夏であった。

わが家の花見弁当 そぼろずし



宇和島教育会OB 松田 厚子

わが家の花見弁当は、嘉永4（1851）年生まれの曾祖母から伝えられた。そぼろずし、海苔巻き、魚の身と卵で作る厚焼き、かまぼこ、蓮

根・筍・蒻・さや豌豆の炊き合わせ、寒天、木の芽の10種を重箱に詰め合わせたもの。間仕切りに葉蘭を使う。旬の材料を大切にして、わが家の食文化をつくった曾祖母。その花見弁当からご紹介したいのは、そぼろずし2種。

まずゆでたエソの骨を取り除き、身をほぐしてすり鉢ですり、食紅の水溶きを加えて淡い桜色に染める。250グラムに酒、砂糖それぞれ大さじ2、塩小さじ1/4で味をつける。それを空鍋に入れて弱火にかけ、割り箸4本で小まめに炒りつけると、ふわっと身の立ったそぼろに仕上がります。エソより高価だが、魚のうま味が引き立つのは鯛。桜の花がほころびるころ採れる桜鯛は、桜色を身にまとうているので、染めずに調味料を加えて炒りつけてもよい。

合わせ酢で、すしごはんを作ってください。幕の内型で抜く。一つずつそぼろの中で転がしてそぼろをまぶす。木の芽を飾って出来上がり。次は、竹簾の上に焼いた海苔を横にして置く。すしごはんを海苔の上に置き、手前か

ら3/4まで薄く広げる。すしごはんの中央に横一直線に味付けしてさました椎茸、かんばんよう、厚焼き卵、三つ葉、そぼろを置き、手前から向こう側へ巻き込む。1本を8つに切り分けて完成。すしごはんとはそぼろが両面相まって美味しい。お試しを。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部
教育の振興を目指す! 日教弘の「3大事業」
教育振興事業、福祉事業、共済事業

第46回愛媛県教育会俳句募集入選句

協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

一般の部

投句者 45名 投句数 73句

近藤良郷先生選

特選

もう逢へぬ人を恋する秋仏間

八幡浜 谷本 澄子

(評) 「逢へぬ人」とは、死別して冥土と現世に別れ住む人であろう。

秋の寂しみは日本の伝統的季節感。恋しさに仏間に来た。

優秀

泣き声も乗せて四月の園児バス

新居浜 中原 佳子

薄氷を囲み友待つ登校班

新居浜 藤田 幾代

佳作

棚田暮れくもの巢空に残りけり

西条 高橋 和

眼科待合そこだけ明るき寒椿

松山市 北岡 典子

夕焼や妻と歩きし道を行く

今治越智 金子 敏雄

祖父の書の曝書に狭き長廊下

西条 渡部 喜生

一輪の椿に和む茶席かな

四国中央 井川 るみ

愛犬の水飲む音や涼新た

松山市 中路 信弥

盆帰省正座で祖父と話す子ら

松山市 八塚 伝

回覧板暑いですねが挨拶に

松山市 武中 晴紀

空蟬の並ぶ次男の宝箱

松山市 中下 裕文

一山を揺らす梵鐘草もみぢ

松山市 井上由美子

吉田晃先生選

特選

今年また今年限りと稲架を組む

松山市 井上由美子

(評) 静かな調子の中に、長年営んできた米作りへの捨て難い思いを強く感じる。きつと来年もそう思いながら稲架を組んでいることだろう。今年限りと思うその気持ちりが作者の生きがいになっているのだと想像する。

優秀

眼科待合そこだけ明るき寒椿

松山市 北岡 典子

愛犬の水飲む音や涼新た

松山市 中路 信弥

佳作

崩落の白き山肌夕焼ける

宇和島 池田多津子

復興の槌音色づく青蜜柑

宇和島 池田多津子

被災地の殊に激しき蟬時雨

今治越智 金子 敏雄

夕焼や妻と歩きし道を行く

今治越智 金子 敏雄

祖父の書の曝書に狭き長廊下

西条 渡部 喜生

泣き声も乗せて四月の園児バス

新居浜 中原 佳子

寒月や添ひ寝の妻の子守唄

松山市 山田 耕二

水遊び娘と競うわに歩き

松山市 松岡真理子

振りかぶる最後の白球晩夏光

松山市 山崎 香苗

空蟬の並ぶ次男の宝箱

松山市 中下 裕文

ジュニアの部

応募校 45校 投句数 1,371句

(校名下の数字は学年)

高山佳子先生選

特選

鯉のぼり洪滞見下ろし泳いでる

雄郡小4 市川 瑚子

(評) 空では悠々と風に泳ぐ鯉のぼり。地上では動きたくても動けない人間たち。ゴールデンウィークの風景や心情が浮かんできます。

現職会員の皆様へ!!

退職後のゆとりある生活のために・・・
自助努力が必要です。
月々2,000円から積み立てがはじめられます。
年2回見直し可能!現在新規加入募集中!!

公益財団法人 愛媛県教育会
積立年金制度

電話 089-945-8644

※制度詳細については、パンフレットをご参照ください。MY-A-19-他-000411

啓林館

尋常小学算術
(緑表紙)復刻版

広島支社

〒732-0052
広島市東区光町1-7-11 広島CDビル5F
TEL 082-261-7246

尋常
小学算術
第六学年児童用
下



文部省

選者紹介



俳誌「波柿」顧問
近藤 良悟

●元小学校長
●元愛媛県俳句協会・松山俳句協会理事
●俳号「良郷」
●東温市在住



俳誌「水煙」同人会長
吉田 晃

●元中学校長
●日本学生俳句協会愛媛事務局局長
●松山市在住



俳誌「泉」同人
高山 佳子

●元小学校長
●松山市在住



俳誌「泉」同人
池田 尊之

●松山市立椿小学校長
●松山市在住

優秀

プチトマトいとこの二さいがつまみぐい
ばつつんとまえがみきつたなつのかぜ
南風追い越せるまで片思い
佳作
うきわからスルツとぬけて海の中
秋の夜まくらもとは好きなきな本
学校のまんまるつつじこいピンク
ライト消しそーっとのぞくホタル川
入道雲二両編成追いかける
ホットケーキ上手にやけた夏休み
お母さん「だめ」しか言わない夏休み
準備勝平成最後の運動会
どこまでもこえていけるさかたつむり
あかとんぼうんどうかいのおきやくさま
身にまとう夕日のドレス神南山
クライミングみんな登った秋の空
審査中あじさいの花コンテスト
フリースロー外して散った夏の夢
ペランダで一人ながめる花火かな

- 椿 小2 長野 愛夏
- 篠山小1 中平和日子
- 松山東中2 西山 碧璃
- 素鷲小3 林田 華音
- 桑原小6 宮内 砂羽
- 松山垣生小5 濱田 聖晶
- 松山久米小5 太田 結梨
- たちばな小5 戸田 悠惺
- 椿 小3 田水 煉
- さくら小4 山内 柚葉
- 福音小5 石丸 一葉
- 栗井小6 河野 雅義
- 北吉井小1 中村 維吹
- 平 小5 松木 瑞姫
- 千丈小5 河野 由奈
- 立間小6 薬師寺晃久
- 久米中3 石山遼太郎
- 桑原中1 伊藤 楓

池田 尊之 先生選

特選

彼岸花土砂くずれの横顔を出す
(評) 豪雨による被害に負けないでと彼岸花が土砂から顔を出してく
れたのでしよう。生命力を感じさせる句です。

優秀

青嵐すぶり百回まめ一つ
通信簿夕風時に開く母
沈黙の父と二人の夏の夜

- 立間小4 薬師寺加奈
- 小田小4 三浦 大弥
- 久米中1 大山さくら
- 桑原中1 山田 柑奈

佳作

あかだまがどどんはいるようろこぐも
あおうめをとったみんなのはがひかる
ないていたししまいみてもいまへいき
かざぐるまたかいたころにかぜ見つけ
さくさくの手づくりクッキー母の日に
ふとももを上げてこうしん秋の朝
ひまわりが電車のせんろつつみこむ
そ父がとりそ母がつくったアユごはん
かくれんぼおにに雨つぶ梅雨に入る
サンダルをぬいで海まで一直線
日焼けして出張先から父帰る
かぶと虫転ぶたんびに手で起こし
大きさを祖父母と競ふ栗ひろい
歩きだせ魂やどった雪だるま
渾身のシュートとともに夏きたる

- 八坂小1 柴田 夏芭
- 長月小1 緒方梨衣沙
- 桑原小1 林田 唯杏
- 松山垣生小2 松陰小2 吉岡 航大
- 松山小2 大西 海斗
- 篠山小2 岡崎 心愛
- 雄郡小3 樋口万悠香
- 石井小4 栗原 瑛士
- 浮穴小5 池岡 稜桜
- さくら小6 浮穴小6 大津 綾乃
- 伊台小6 稲荷 千依
- 中萩小6 武田 修輔
- 松山東中2 宮田 彩織
- 垣生中2 新野 正瑛
- 日野 主義

平成30年度 第46回俳句募集応募状況

ジュニアの部				一般の部	
校種	地区	校数	応募数	教育会	人数
小	四国中央	1	4	四国中央	1
小	新居浜	11	24	新居浜	3
小	松山市	20	733	西条	2
小	東温市	1	35	今治・越智	2
小	大洲市	1	100	松山市	31
小	内子	1	57	東温市	1
小	八幡浜	2	180	八幡浜	1
小	西予	1	20	宇和島	2
小	宇和島	1	39	西予	2
小	南宇和	2	43		
中	松山市	4	136		
合計		45	1,371	合計	45
(参考) 29年度		44	1,108	(参考) 29年度	49
(参考) 28年度		21	373	(参考) 28年度	25
(参考) 27年度		32	645	(参考) 27年度	32

入選者の賞、副賞

賞、副賞	ジュニアの部(県学校生協賞)	一般の部
特選	賞状、辞典	賞状、当該俳句入り色紙(大倉可貴先生画)
優秀	賞状、筆記具	賞状、筆記具
佳作	賞状、筆記具	賞状

ふるさとスケッチ

No.417

よみがえった氏神様



松山市教育会 OB 越智 栄蔵

ものです。さて先日は秋祭りが行われ、提灯行列や神輿の練り歩きなど大変賑わいました。新しい日招神社がいつまでもたくさん町民が集う場となつて、心のつながりを深めてほしいものです。

自宅の近くに、日招神社があります。当神社は約20年前に大火災があり、本殿など大部分を焼失しました。しかし、地域住民の再建に対する熱い思いが叶い、3年前に本殿や拜殿などが再建されました。町民はみんな大喜び、さっそくもちまきなどをしてお祝いをしました。スケッチはその新しい本殿を正面から描いた



ご冥福をお祈りします

奥津	奥田	高岡	柴田	井上	佐々木	藤本	日野	西原	山内	原	齋藤	堤	橘
重徳様	和久様	猛様	博様	清様	美代子様	友良様	菊江様	吉二様	智恵子様	美津雄様	益雄様	覺様	定雄様
89歳	97歳	88歳	86歳	89歳	98歳	87歳	86歳	88歳	87歳	92歳	88歳	86歳	89歳
八幡浜市五反田一八〇三	松山市梅味二丁目五九	東温市田窪一六九一五	宇和島市寿町二四一	伊予市双海町上灘甲四三七	西条市洲之内甲五三	伊予市中山町佐礼谷甲三七一一	東温市見奈良八四	新居浜市土橋二一六四	新居浜市中村三六三	新居浜市土橋二二〇	四国中央市三島宮川三三四	四国中央市三島中央二〇一	松山市北井門三丁目八二四
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9
24	22	20	19	13	11	10	8	7	3	2	1	28	26

稲田さんの法律豆知識 No.7

任意後見制度

成年後見制度についてもお伝えしてきましたが、後見制度の新たな部分である任意後見制度についてお知らせしたいと思います。

任意後見制度とは、将来、後見制度が必要となった時、すなわち、弁識能力を欠くに至った時、どのようにしてほしいか書類にし、その希望することを実現してもらうよう依頼することができる制度です。

具体的な例としては、自分に後見人が必要となった時は、誰に後見人になってほしい。施設に入所する必要がある時は、どこに施設に入所する手続きを取ってほしい。延命装置は使用しないほしい。などなど、将来の自分の人生を、依頼することが可能となります。

判断能力の確かなうちに、後見制度を活用しなければならなくなった時のライフプランを作成することができるのです。方法としては、公正証書で書き残しておくことが必要なので、公証人役場で、手続きをする必要があります。

任意後見契約の公正証書が作成されると、公証人の嘱託により、東京法務局民事行政部後見登録課において、任意後見契約の登記がされます。後見人が必要となった時、任意後見契約に基づき、後見事務が開始されます。本人の意思が尊重されるといふことから考えると、今後利用されることが多くなる制度だと思っております。

後見制度の最後の記述として、これから、団塊の世代といわれる方たちの高齢化が予測される中、成年後見制度の活用が、ますます、必要となってくると思われまふ。

しかし、後見人を引き受けてもらえる人が十分ではないので、市民後見人の育成が急務となっております。知識もあり、社会貢献能力の高い方たちが市民後見人として、参加していただける時代が来たと思っております。



俳画・水墨画教室 佐野 妙子作

ハウジング事業のご案内

学校生協がハウジングメーカーと提携することによって、学校生協組合員様のライフスタイルを応援させていただきます。新築・マンション・リフォーム等、多数のハウジングメーカーと提携しております。

詳しくはホームページをご覧ください

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 都市学校生活協同組合
<http://www.ehime-gakuseikyoku.jp>



ヒマラヤ スポーツお徳なご案内

組合員様向けチケットを精算時にご提示いただくと店頭表示価格から5%OFFになります。ウインタースポーツやジョギング用品の購入に是非ご利用ください!



お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 都市学校生活協同組合